

保護課

1 生活保護

当筑紫保健福祉環境事務所の管轄区域は、筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市及び筑紫郡那珂川町の4市1町であるが、生活保護事務については筑紫郡那珂川町のみを管轄している。

那珂川町は、北部西部を福岡市に東部を春日市、大野城市、筑紫野市に南部を佐賀県と接し、町面積 74.99 k m²の内 55.56 k m² (74.1%) が森林地区となっている。隣接する福岡市の影響で人口は増加の一途をたどっているが、なかでも福岡市に隣接する町の北部の増加が著しい。南部は農業地域が背振山地へと続いている。

平成5年～28年3月末までの22年間に、人口が11,167人(約28.6%)増加している。このように那珂川町は、人口が増加する北部地域と、福岡都市圏に新鮮な食糧を供給する南部地域と分化が進んでいる。

那珂川町的生活保護の状況は、平成5年度に保護の適正化の取り組みや好景気の影響で、被保護世帯117世帯、被保護人員222人、保護率5.8%と最も低値を示した。

平成28年度3月末では、被保護世帯462世帯、被保護人員769人、保護率15.4%となっており、平成5年と比較すると世帯数で345世帯、保護人員で547人、保護率で9.6ポイントの増となっている。

今後、高齢化率の伸びや管内景気の低迷等の影響により、被保護世帯の増加傾向は続くものと思われる。

平成27年度に保護開始した件数78世帯のうち保護開始理由として主なものは、傷病によるものが最も多く20世帯で、次いで転入12世帯、貯金等の減少12世帯、就労収入の減少9世帯、働いていた者との離別6世帯、失業3世帯その他16世帯となっている

平成28年3月末現在の世帯類型別の構成比は、高齢世帯187世帯(41.2%)、母子世帯63世帯(13.9%)、障害世帯34世帯(7.5%)、傷病世帯78世帯(17.3%)、その他世帯91世帯(20.0%)となっている。

また、被保護人員のうち入院患者の割合は30人(3.9%)となっている。

(1) 保護状況

	年 度	5年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	28年3月末
那 珂 川 町	世帯数	12,268	17,739	17,603	17,828	17,898	18,061	18,307	20,051
	人口	38,996	48,737	49,785	49,924	49,758	49,738	49,909	50,163
	65歳以上人口	3,553	7,612	7,887	8,222	8,872	9,085	9,650	10,338
	高齢化率	9.1	15.6	15.8	16.5	17.4	18.2	19.2	20.6
	被保護世帯数	117	307	338	355	389	406	442	462
	被保護人員	222	561	634	653	706	709	745	769
	保護率(%)	5.8	11.6	13.0	13.1	14.2	14.3	15.0	15.4

※出典 「福岡県的生活保護」及び「生活保護速報」。

※人口等は各年10月1日の推計人口を利用。ただし、平成22年度は国勢調査。

※保護率は、被保護人員を前年度人口から除して1,000を乗じたもの。